

「全国民が調査対象」

自衛隊情報収集で防衛相

参院委

久間章生防衛相は19日

の参院外交防衛委員会で、陸上自衛隊情報保全隊が自衛隊のイラク派遣に反対する市民団体などの情報を収集していた問題について「自衛隊の行

動、組織、保全に関することなら、あらゆる団体を調査しても違法とは言えない」と述べた。そのうえで「国会議員であっても、国民として平等に情報収集の対象にはなり

うる」と指摘し、全国民が情報収集の対象になるとの認識を示した。民主党の白真勲、増子輝彦両氏の質問に答え

た。久間防衛相は文書の真偽は言及を避けたが、情報収集に関しては「集めたこと自体が悪いとは判断できない」と正当性を強調。一方、収集した情報を「反自衛隊的」などと分類していることについては「東西冷戦当時のままですらあり、ある意味で情性だった。『反自衛隊』(という分類)は間違っており、分類の

仕方を検討させている」と述べた。

共産党が6日に公表した内部文書によると、増子氏は衆院議員時代の04年に、自衛隊OBらが組織する「隊友会」の祝辞で自衛隊のイラク派遣に反対したことについて「派遣を誹謗^{ひぼう}」したと記載されている。

【田所柳子】